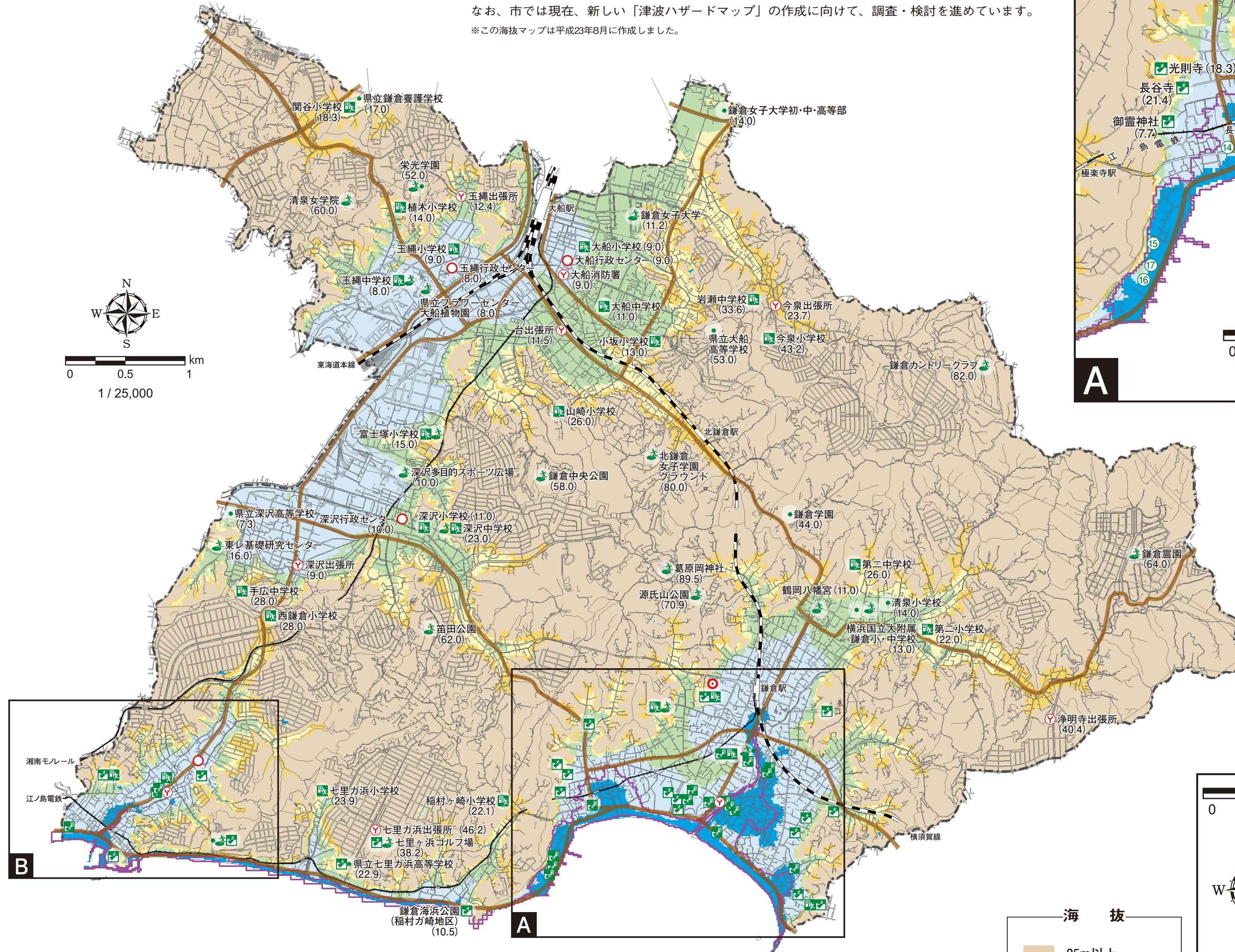


鎌倉市海抜マップ

総合防災課 (内線2614)

東日本大震災では想定を超える津波被害が発生しました。津波から命を守るためには、早めの避難が重要です。お住まいの地域の高さを確認するとともに、津波から避難する高台などの目安として、このマップをご活用ください。平成21年7月に市が発行した「津波ハザードマップ」は、南関東地震(M7.9)を想定したものと なっています。今回のマップには、21年に神奈川県が参考情報として公表した元禄型関東地震(南 関東地震以上の規模となるM8.1)の浸水想定区域を掲載しています。なお、市では現在、新しい「津波ハザードマップ」の作成に向けて、調査・検討を進めています。 ※この海抜マップは平成23年8月に作成しました。



番号	避難建築物名称	所在地
①	鎌倉コナクリニック	材木座 1-5-4
②	鎌倉ヒロ病院(新館)	材木座 1-7-22
③	鎌倉バンビル	材木座 3-5-16
④	野畑ビル	材木座 3-5-23
⑤	スタンレー サババン オフィス サーフサイド	材木座 5-4-24
⑥	ビラ・かまくら	材木座 6-8-7
⑦	鎌倉市消防本部	由比ガ浜 4-1-10
⑧	由比ガ浜ハイツ	由比ガ浜 4-4-40
⑨	鎌倉わかみや	由比ガ浜 4-6-13
⑩	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
⑪	鎌倉女学院	由比ガ浜 2-10-4
⑫	由比ガ浜コーポ1号	由比ガ浜 2-24-2
⑬	由比ガ浜コーポ2号	由比ガ浜 2-24-2
⑭	斎藤ビル	長谷 2-16-15
⑮	軽費老人ホームきしろホーム	坂ノ下 31-5
⑯	鎌倉パークホテル	坂ノ下 33-6
⑰	特別養護老人ホーム 鎌倉清和由比	坂ノ下 33-3
⑱	江ノ島ビーチハウス	腰越 3-11-6
⑲	腰越中央病院	腰越 4-8-29
⑳	腰越消防出張所	腰越 4-9-12

津波来襲時の緊急避難建築物

拡大マップA・B上の数字と照らし合わせてご確認ください。

凡例

() 内の数字は海抜です(単位:m)

- 市役所
- 行政センター
- 消防署・出張所
- 国道・県道
- ミニ防災拠点 (地震や大雨等の際に、早期の段階で開設する避難所です)
- 避難所 (状況に応じて市の判断で開設されます)
- 広域避難場所 (火災の延焼拡大による煙や放射熱から一時的に身を守る場所です)
- 津波来襲時緊急避難空地
- 津波来襲時緊急避難建築物
- 津波浸水予測範囲(元禄型関東地震)

※このマップの作成にあたり、背景の地図には、鎌倉市都市計画基本図2500分の1(平成21年度作成/鎌倉市指令都計第24号)を使用しました。海抜については、国土地理院基盤地図情報ダウンロードサービスから入手できる数値標高モデル10mメッシュ(標高)を使用しました。なお、地図精度の誤差を含んでいますので、ご了承ください

(元禄型関東地震…想定規模はマグニチュード8.1、発生間隔は2300年、今後50年間の発生確率ほぼ0%。1703年に発生した地震のデータを基に想定)

